

Lion

IWATE

2016
8
Aug.

- 第1回 キャビネット会議報告
- シリーズ 森のなかのいわて…共生の道
- 新連載 あづま海道を行く



2016-2017 ライオンズクラブ国際協会 332-B 地区

第1回キャビネット会議報告



◆開催期日

2016年7月20日(水)

◆会場

ベリーノホテル一関

◆レポーター

キャビネット事務局筆頭副幹事

L.高橋 恒司

去る7月20日(水)、332-B地区第1回キャビネット会議が開催された。今年度は一関市を会場にした会議が多数開催される予定になっているが、遠方より来られるクラブに配慮し、開会時間を少し遅めに、閉会時間は少し早めにとの方針。

会議開会に先立ち、7月14日急逝されたL.後藤成志地区名誉顧問及びライオンズクラブ物故会員に対し、黙とうを捧げた。

そして、L.金野幸造地区ガバナーの開会ゴングとともに会議がスタート。役員委嘱状の交付は、役員を代表しL.筒井學地区名誉顧問会議長に、L.金野地区ガバナーから委嘱状が手渡された。出席者紹介は、第1回会議ということもあり、L.高橋幸雄キャビネット事務局長が全員の氏名・役職名を力強く読み上げ、各メンバーは起立とともに一言の挨拶をし、決意を示した。続いて、L.金野幸造地区ガバナーの挨拶。ライオンズクラブ国際協

会100周年を迎えるこの期にガバナーとして次の100年に向けた架け橋にならんことを熱く語った。

次に、L.筒井學地区名誉顧問会議長より祝辞が贈られ、続いて、L.金野地区ガバナーからは第99回国際大会及び国際会長プログラムの説明がなされた。さらに、地区ガバナーテーマ、重点目標の発表が行われ、採用に至った経過を説明。地区ガバナーテーマも、メンバーひとりひとりの活性化に期待を込めたと理解を求めた。重点目標については、4項目を掲げ下記の通りとなった。

1. 「東日本大震災復興」を一番に掲げ、心のケアを訴えた。
2. 「100周年記念アクティビティ」記念奉仕チャレンジ・キャンペーン・レガシー・プロジェクトへの参加を要請。
3. 「集いは輪が大きい程 力なり」会員を増やし次世代リーダーの育成、女性メンバーの

活用。岩手国体への協力に取り組む。

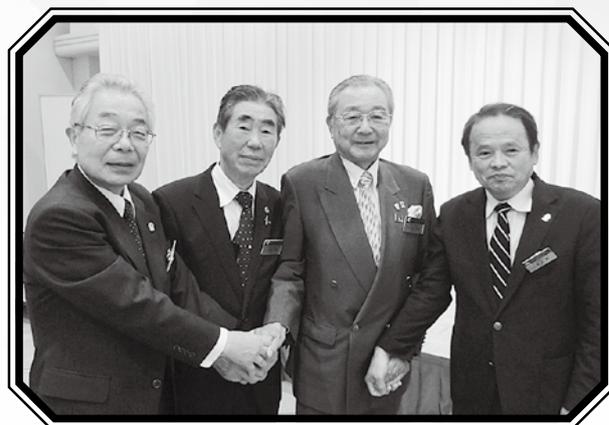
4. 「青少年健全育成」薬物乱用防止授業推進、ライオンズクエストプログラム推進。

続いて、L. 鈴木雅彦キャビネット幹事から、キャビネット運営要綱の発表。運営方針について、YCE プログラムの積極的取組、地区ホームページへのアクセスと活動報告の投稿依頼、ライオンいわての早期発行などの説明があり、幹事報告12項目の報告説明が続いた。

議案審議にあたり、議事録作成人にL. 松倉忠地区国際協調・大会参加・PR 情報・IT 委員長、及び議事録署名人にL. 塩竈素明地区会計監査委員をL. 金野地区ガバナーが発表。議案審議が始まり、7号議案ではアワード方針について努力したクラブが正しく評価されるアワードを目指すことなどをL. 金野地区ガバナーが説明。8号議案すべて原案通り承認され、閉会ゴングとなった。なお、当日はキャビネット会議に先立ち、第1回地区アクティビティ積立金運用委員会、第1回ゾーン・チェアパーソン会議が開催された。

休憩後、懇親会をL. 三浦卓キャビネット副幹事（一関LC）の司会でスタート。L. 金野地区ガバナー挨拶では、会議では話せなかった分としてLCIF 献金も積極的に取り組み願いたいと語った。乾杯の発声はL. 吉田昭夫地区常任名誉顧問より「金野丸」の船出を祝い、高々とウィサーブ。総勢約70名にて懇親会は盛況裡のなか、第99回福岡国際大会参加者の中からL. 小野寺秀徳ガバナー室長（一関中央LC）から参加の感想をいただく場面もあった。懇親会も終盤を迎え、ライオンズローアをL. 森谷潤第一副地区ガバナーよりいただき、お開きとなった。

お蔭様をもちまして、無事会議一切を終了できました。あらためまして、ご参加いただきました皆様のご協力に心より感謝申し上げます。



議案審議

- 第1号議案 前年度地区ガバナー、キャビネット幹事、キャビネット会計に対する感謝決議について
- 第2号議案 第一副地区ガバナー、第二副地区ガバナー並びにゾーン・チェアパーソンの活動費について
- 第3号議案 旅費規程（案）及び慶弔規程（案）について
- 第4号議案 地区会計予算（案）について
- 第5号議案 会計監査委員の承認について
- 第6号議案 取引銀行の承認について
- 第7号議案 アワードに関する地区ガバナーの方針について
- 第8号議案 国際大会及びアジアフォーラム参加促進について

シリーズ 森のなかのいわて…共生の道

第一回 賢治先生の森を歩く



シリーズ

森のなかのいわて…共生の道

今期「ライオンいわて」では、年間を通してひとつのテーマについて特集します。岩手県は、県土の約77%を森林が占めており、いわば“豊かな森林のなかに岩手県がある”と言っていいほど、自然環境に恵まれています。そんな岩手に生きる私たちが、森とうまく共存していくために必要なことは何なのだろう……。正しい答えが見つかるわけではないかもしれませんが、身近にある“森”について考えるきっかけになればと思い、『森のなかのいわて…共生の道』というシリーズとしていくことにいたしました。

宮沢賢治が愛した花巻の森

これから1年間を通してライオンズクラブ国際協会、環境憲章の環境保全活動の推進を基に、「森林、山々の保全環境を歩く」というテーマを設定し、シリーズとして連載することになりました。第1回目の今回は、今年生誕120年の宮沢賢治と森をかけて、花巻の森を探ってみることにしました。

花巻の人々は、宮沢賢治を“賢治先生”と呼んでいることから「賢治先生の森を歩く」というタイトルを掲げ、さっそく花巻東ライオンズクラブにアポイントを取ることに。L 藤田好造幹事には、お忙しいなかご案内いただき、「イーハトーブの森」「賢治先生の家」「ライオンズの森」「豊沢川周辺の



山々」を1日かけて巡りました。「イーハトーブの森」は、賢治先生が盛岡高等農業学校の2年生だった大正5年（1916年）に地質調査を行なった場所。正式名称は「沼森平」で、当初、北半分は広葉樹や針葉樹の森で南半分が樹木のない荒地だったそうです。沼森平が湿地から草原に移行したのも、森林伐採やその他の人為的影響を受けた結果だと賢治先生は言っています。

「ライオンズの森」は、花巻市の西部にあります。L.藤田幹事によれば、ただ放っておくと荒れた漠然とした山にしかならず、少しずつでも人々の手を入れた管理が大事なのだそうです。その一環として子供たちが自然と触れ合えるようにと造られたベンチや道具小屋が熊の被害に遭い、計画はと

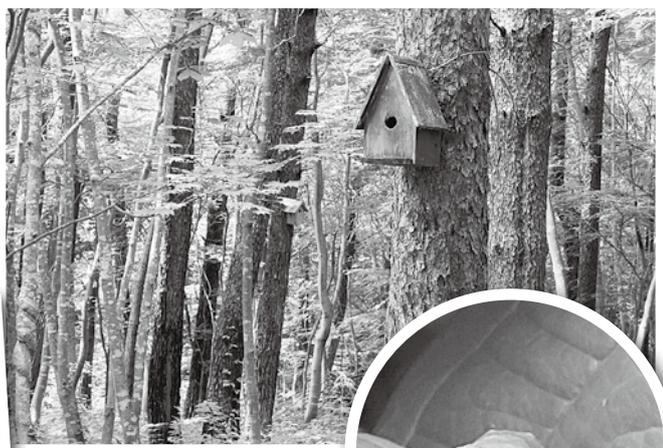
ん挫してしまつたと、残念そうにお話しくさされました。その後足を延ばした豊沢ダム、豊沢川周辺の山々にも、童話の舞台になっているなど賢治先生のゆかりの場所が多く、素晴らしい壮大なパノラマ風景で本当に感動しました。

今回、森を巡ってみて感じたことは、自然と共に生きる為にはやはり人の手が必要であることです。人の手が入るからこそ環境が守られ、全体的に調和が保たれているのだと思いました。岩手には、まだまだ素晴らしい森林、山々がたくさんあります。今回は賢治先生の森を歩いてみました。賢治先生が愛したイーハトーブ（理想郷）を壊さぬよう、岩手の森を大事にしたいと思います。

（L.伊藤 和江）

ライオンの森

L. 藤田幹事らの願いが込められた森は、熊の被害で計画がストップ。でも希望は捨てない



熊の爪痕

いつも使用している道具小屋も熊被害に！
道端には熊が掘った穴まであった

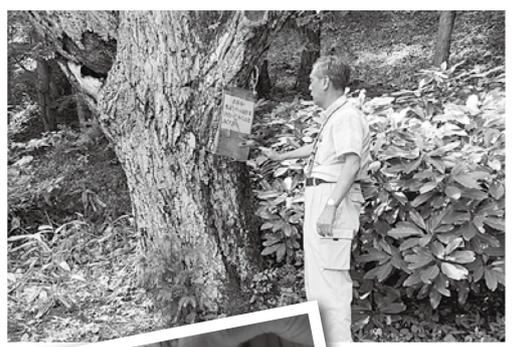


花巻郊外の豊沢川上流は、
賢治先生のお話にも登場する場所もある。
のどかな雰囲気だ



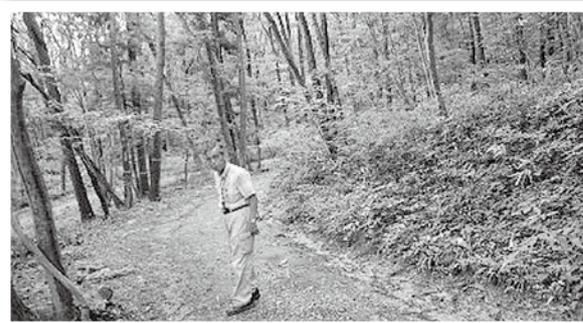
熊よけ対策

森に踏み込む際は必ず手を
パンパンと鳴らすL.藤田幹事。
念のため鈴も持ち歩く



子供たちが遊べる森に

L. 藤田幹事が所属する花巻東LCでは、高村光太郎記念館近くの森の一角を“ライオンの森”とし、様々なアクティビティを行なっています。野鳥のための巣箱を設置したり、散策しやすいように草刈りなどの整備はもちろん、少しでも子供たちが楽しんでくれたらと小さな野外コンサートができるスペースを造りました。「ところが、この辺も熊が出るものでね。せっかく作った木のベンチも倒されてしまったし、道具小屋も壊されてしまって」と、残念そうに話すL. 藤田幹事。でも、静かで穏やかな雰囲気この森は、野外コンサートにはうってつけの場所。いつかぜひ、L. 藤田幹事たちの願いが叶うことを祈っています。



L. 藤田幹事の案内でライオンの森を散策しました

取材を終えて

ライオンいわて編集副委員長

L. 小野寺 進 (一関中央 LC)

森を守り、育て、保護育成の活動が望まれている今、「ライオンいわて」の年間特集は「森と環境保全について」と決定。初回の担当はL. 伊藤和江で私は同行、取材先は花巻に。花巻東LCの幹事、L. 藤田好造幹事の案内で、宮沢賢治記念館、ライオンの森等を散策。L. 藤田幹事には旧友であるが如く親しく案内していただき感謝申し上げます。今年は広範囲で熊の出没が報道され、それを実感しつつ取材を終えました。

ライオンいわて編集委員

L. 伊藤 和江 (一関巖美溪 LC)

梅雨時期の取材でしたが、当日は驚くほどの晴天で、そんな日に森を歩けたのは超ラッキー。ただ最近森林、山と言えば何処に行っても『熊の出没』の危険があり、おっかなびっくりの1日でした。私は元々、自然を見て歩く事が大好きで、新緑、紅葉などで心から癒しを感じていました。今回の取材を通して、ますます自然の素晴らしさを実感。これから来年6月迄、編集委員として出来る限り頑張りたいと思います。

連載



あづま海道を行く

あづま海道の道のり



旅のはじまり

国道四号線、平泉の街を南に抜けると、程なく祇園鎮座八坂神社から北上川を挟んで、東方になだらかな稜線が見える。その頂を東稲山といい、南北に連なる山並みを里人は東山と呼んでいた。地質学的には古生代や中生代の岩体からなり、北上高地西縁部をなしている。今、話題のリニアコライダーラインとも同系の岩体であり、安定した山麓といえる。

私たちは、そのような風光明媚な景観を見ながら、一関市街を東に抜け、北上川の千歳橋を渡り、左手にトンネルを抜け西平という邑に立った。ここから県道14号線「あづま海道を行く」の旅がはじまる。



観音山と舞草刀

北上川を左手に楠木橋を越えると、程なく梅木のお休み処に着く。正式名称は一関遊水地展望台と言い、一関市街が全貌できる。振り返れば観音山がすぐ目の前に佇む。観音神社を参拝するには、この地より大平方面に向かい表参道黒門から登るのが正式なのだが、車道ではないので、さらに東に向かう。

道すがら山麓のあちこちに小規模な棚田が営まれており、農家の方々のご先祖様を敬い、ふるさとを守る心意気を感じることができる。

やがて平石の地に至り東参道の入り口に着いた。この道は普通車一台通るのがやっとの道幅だが、両側にアジサイの花などが咲いており心和む。急こう配の途中、古屋敷跡、小戸山遺跡、土師器・須恵器片出土地などの標柱があり、千年以上も前から人が住み生活していたことが見て取れる。

道がなだらかになり、観音山の嶺にあたる白山岳に着いた。この地こそ、舞草古鍛冶発祥の聖地である。平安時代以前、日本で使われる刀は支那・朝鮮の流れをくむ直刀であったが、舞草で生産されるようになり、そりのある湾刀に移り変わっていった。いわば純国産の刀が誕生し、奥州藤原氏が福島県白河以北を統一したことにより、藤原家の御用鍛冶集団として全国にその名をとどろかせ、鎌倉時代の名のある刀剣書にも紹介された。

その後、奥州藤原氏は終焉したが、刀工たちは、その技術を乞われ全国に旅立って行った。

(ルポ／梅木 隆詩)



鉱山跡と舞草鍛冶遺跡



伝古屋敷跡 (安永風土記)



太刀 銘 舞草 (一関市博物館蔵)

この鍛冶場周辺は岩手大学と一関市教育委員会が地元の有志と一体となって発掘調査し、タタラ跡、鞆の羽口、鋳などが発見され舞草鍛冶の繁栄を証明、現在、一関博物館で保管、その一部が公開されている。

鍛冶遺跡碑より程なく前方に舞草神社が見えて来た。予想していたより風格がある、というか神々しい。それもそのはず、この神社は養老2年(718)創建、大同2年(807)、征夷大將軍の坂上田村麻呂が東夷征討の祈願成就の礼に観音堂を建立、さらには奥州藤原氏も深く帰依し、舞草神社の麓にある吉祥山周辺に24坊を数える一大寺院を構築したと伝えられる。

その後2度の火災でほとんどの仏閣が焼失し、今は舞草神社のみが残るが、この本殿も明治9年に火災、明治39年に再建されたものである。

また観音堂は明治維新の廃仏毀釈運動により、神社から100mほど真下の別当千葉氏の自宅の一隅に仮観音堂を建て、本尊聖観音像と仁王像を移し現在に至っているという。

観音山は舞草神社より200mほどなので登れない山道ではないが、昨今の熊出没話もあり、諦めて東参道を下った。



延喜式内舞草神社本殿



本殿の背後にそびえる御神木



本殿の脇広場から一関市舞川方面を望む

ガバナー表敬訪問

キャビネット会計 L. 芦萱 敬一（一関中央 LC）

キャビネット三役のL. 金野幸造地区ガバナー、L. 鈴木雅彦幹事、L. 芦萱敬一会計と、L. 竹本裕一一関中央 LC 会長の 4 名が、一関市役所に勝部修一関市長を訪問。冒頭、6 月 28 日に開催された九州・福岡国際大会で、L. 金野が 332-B 地区のガバナーに就任した事を報告し、さらに、希望郷いわて国体・いわて大会への協力の一貫で、県内ライオンズクラブで、レインボークリーン作戦として国体会場周辺の清掃活動・又は花を飾る等を実施している事もお伝えしました。来年 5 月には地区年次大会を一関市で行う為、一関文化センター等の施設借用の協力も併せてお願い致しました。そして、本日の記念品とし

て、バナー・ピンバッチを贈呈。バナーはブラザークラブ各地の主なる観光地を取り入れたもの、ピンバッチには、「時の太鼓」をシンボルマークとした事を説明すると、8 月の一関夏まつりに「時の太鼓」のピンバッチを付けて巡行して下さるとのこと。「旺盛な奉仕の精神があればこそ任務に立ち向かっていけるものと改めて敬意を表します」と勝部市長ご自身の Facebook にも今回の訪問について投稿しておられました。

その後、岩手日日新聞社、LEO クラブがある県立一関第二高等学校を訪問し、就任の挨拶をして、駆け足ではありましたが、交流を深めてその日を終わりました。



三役揃って一関市役所を訪問。勝部市長との顔合わせに臨んだ



勝部市長と和やかに歓談する L. 金野ガバナー



岩手日日新聞社を訪問し、伊勢田総務局長と歓談



大野元国際理事を偲ぶ

元国際理事・地区名誉顧問 大野 泰一ライオンを偲ぶ記

ライオンズクラブ国際協会 332-B 地区
地区名誉顧問会議長 **L. 筒井 學**

青葉の美しいこの時に、大野 泰一ライオンの突然のお別れという訃報に接し深い悲しみに包まれております。

大野 泰一ライオンは、1960年盛岡ライオンズクラブに入会し、1962年盛岡不來方ライオンズクラブにチャーターメンバーとして移籍、1980-1981年盛岡不來方ライオンズクラブクラブ会長、1984-1985年岩手県全クラブをまとめる332-B地区ガバナーに就任し同時期、332複合地区ガバナー協議会議長も務められました。1997-1999年国際理事を就任するまでの間にも多くの要職を歴任され又、数多くの賞を授与されております。その中のメルビン・ジョーンズ・フェロー賞6回という素晴らしい偉業も残されております。

1997年には、すでに薬物乱用防止運動を熱心に推進されておりますが、今まさに、私たちがこの運動をしっかりと引き継がせてい

ただいております。

ライオンズクラブ国際協会は、今年度100周年を迎えます。

ライオンズの素晴らしい伝統と文化を守って行くために、未来を見すえて改革を進めています。

変革が求められている時代だからこそ、より知性を高め、友情と相互理解の精神を養い、平和と自由を守るというライオンズの原点を忘れず、未来に向けて飛躍することをお誓い申し上げます。

ライオニズムの情熱と献身的な奉仕のもと、これからも大野 泰一ライオンの深き思いを胸に、なお一層332-B地区の発展のため、務めてまいります。

これまでに寄与されました幾多のご功績に対し、心より敬意を申し上げ、衷心よりご冥福をお祈り申し上げます。

大野泰一元国際理事の経歴

1960年	盛岡ライオンズクラブに入会
1962年	盛岡不來方ライオンズクラブにチャーターメンバーとして移籍
1980-1981年	岩手県全クラブをまとめる 332-B 地区ガバナーに就任 複合地区ガバナー協議会議長
1997-1999年	国際理事を就任するまでの間にも多くの要職を歴任

大野泰一元国際理事を偲んで

ライオンズクラブ国際協会 332-B 地区

盛岡不來方ライオンズクラブ幹事 **L. 前田 秀男**

2016年5月9日大野泰一元ライオンは彼岸の彼方へ旅だたれました。

思えば「ミスターライオン」と呼ぶことが出来るほど、ライオンズのため的一生懸命取り組んでこられ、これこそが大野泰一元ライオンのライフワークだったのではなかったでしょうか。

当初、盛岡ライオンズクラブに所属されておりましたが、盛岡不來方ライオンズクラブを創設するために移籍され、我がクラブのチャーターメンバーとして、クラブの運営等本当に指導的な役割を担われて来られたところであります。

クラブの活動には特別にロマンを感じておられたようで、奉仕活動とアクティビティに精力的に取り組んでいる姿が今でも記憶に新しいところです。特に曲がったことは大嫌いで筋を通される一方、談論風発、会員から常に慕われる存在でした。

特に、その頑固さは陸軍士官学校時代に育まれたものか立派なものでした。

1984年7月には332-B地区ガバナーに就任されるや、ライオンズクラブのあり方を見つめ直すかのように、ガバナーテーマに「初心」を、そして青少年の健全育成を目指して、スローガンには「育てよう理想に燃える青少年」を掲げ、地区運営に情熱を傾けておられました。

1997年7月、念願叶って国際理事に就任されました。ガバナーを経験され、ライオンズクラブのあり方に何らかの疑問を持ち、新風を吹き込むために乗り込んで行かれたものと理解しております。

理事会ではいつも発言を求め、国際理事の皆さんからは、議論白熱もう「オーノー」と言われていたと聞いております。

まだまだ語り尽くせませんが、大野泰一元ライオンのご冥福を祈念申し上げ、追悼の誠とさせていただきます。

6月のアクティビティ

1R1Z		
盛岡 LC	5日	1R1Z 合同 ACT 第2回レインボーグリーン大作戦
	14日	LCIF \$1000 献金 (熊本地震指定)
盛岡不来方 LC	2日	1R1Z 合同 ACT レインボーグリーン大作戦
	28日	LCIF 献金 (熊本地震指定)
盛岡中津川 LC	5日	1R1Z 合同 ACT 第2回レインボーグリーン大作戦
	30日	LCIF 献金 (熊本地震指定)
盛岡鏡武 LC	4日	献血推進活動
	5日	1R1Z 合同 ACT 第2回レインボーグリーン大作戦
	22日	LCIF 献金 (熊本地震指定)
	29日	直接献血
盛岡南 LC	5日	1R1Z 合同 ACT 第2回レインボーグリーン大作戦
滝沢 LC	5日	1R1Z 合同 ACT 第2回レインボーグリーン大作戦
	25日	滝沢市青少年育成市民会議標語コンクール
玉山姫神 LC	5日	1R1Z 合同 ACT 第2回レインボーグリーン大作戦
	21日	チャリティゴルフコンペ (事業資金獲得)
1R2Z		
岩手 LC	13日	献血推進活動
二戸 LC	1日	薬物乱用防止教室
	24日	ユネスコ協会定期総会
	24日	LCIF 献金
西根 LC	6日	LCIF 献金 (熊本地震指定)
	6日	八幡平市サマーチャレンジカップへの助成
	19日	献血推進活動
	22日	いわて国体会場周辺清掃作業
安代 LC	10日	LCIF \$1000 献金
	10日	LCIF 献金 (熊本地震指定)
2R1Z		
花巻 LC	9日	NPO 法人花巻青少年少女創造活動支援協会総会
	10日	LCIF 献金 (熊本地震指定)
	15日	花巻市青少年育成会議表彰式
紫波 LC	2日	ペットボトルキャップの回収
	26日	親子ふれあいニジマス釣り大会後援
	29日	献血推進活動
	30日	LCIF 献金 (熊本地震指定)

石鳥谷 LC	2日	LCIF 献金 (熊本地震指定)
	4日	草刈清掃・ゴミ拾い
	21日	ラットランド市姉妹都市 30周年交流会
	24日	好地荘並びに松風園運営協議会
大迫早池峰 LC	11日	早池峰登山山道清掃奉仕
花巻東 LC	11日	清光学園児童・生徒を温泉に招待
東和猿ヶ石 LC	7日	花巻市防犯協会協賛金
	19日	ライオンズの森除草作業
矢巾 LC	1日	ライオンズ庭園の樹木の手入れと周辺清掃
	15日	幹事杯ゴルフコンペ (事業資金獲得)
2R2Z		
北上 LC	1日	献血推進活動 2箇所
	12、17、19、26日	花壇整備
	5月1日～31日	資源回収リサイクル
	26日	LCIF \$1000 献金
和賀 LC	17日	使用済み切手 8,000 枚、プリカ、書き損じハガキ 送付
	14日	献血推進活動
	22日	笠松小学校どんぐりプロジェクト支援
北上国見 LC	25日	小学校の体験発表会
	6日	ラグビーチケット贈呈
	5日	早朝清掃奉仕
江釣子 LC	21日	献血推進活動
	5月19、30日	資源回収
	12日	献血推進活動
	14日	和賀川グリーンパーク清掃
25日	北上市小学生の体験発表会の後援	
3R1Z		
水沢 LC	1日	PR 広告胆江日日新聞掲載
	2日	LCIF 献金 (熊本地震指定)
	2日	奥州市少年少女発明クラブ会費納入
	11日	水沢フラワーロード全体作業
江刺岩手 LC	22日	使用済み切手 2,000 枚送付
前沢 LC	5、19日	献血推進活動
	5日	前沢牛まつりで中学生と募金活動
	22日	いわて学び希望基金へ送金
	22日	LCIF 献金 (熊本地震指定)
水沢中央 LC	1日	環境月間 PR 広告を胆江日日新聞掲載
	11日	水沢フラワーロード植栽
	24日	LCIF 献金 (熊本地震指定)

金ヶ崎 LC	4日	高田松原復興支援
	5日	第 34 回金ヶ崎マラソン協力
	7日	LCIF 献金 (熊本地震指定)
	29日	金ヶ崎町観光協会・国際交流協会
	29日	金ヶ崎町国際交流協会
	29日	暴力団追放胆江地区区民会議
胆沢岩手 LC	-	
3R2Z		
一関 LC	26日	献血推進活動
	23日	LCIF 献金 (熊本地震指定)
平泉 LC	13日	献血推進活動
花泉 LC	28日	花いっぱい運動
一関中央 LC	12日	月一労力奉仕
一関巖美溪 LC	-	
4R1Z		
千厩 LC	5日	黄金山キャンプ場びらき草刈清掃
	23日	せんまや夏祭りへの協賛
	30日	使用済み切手 5,000 枚送付
大東岩手 LC	19日	ライオンズの森、大東中学校土手の草刈
東山 LC	5月24日	献血推進活動
	6日	狛鼻深駅前児童公園草刈清掃作業
藤沢岩手 LC	4日	藤沢子ども園へ花苗植栽・清掃活動
	4日	サッカークラブ活動支援
	14日	献血推進活動
川崎岩手 LC	-	
室根 LC	5日	森は海の恋人
	4日、5日	特別養護老人ホーム孝養ハイツ法面草刈
	28日	献血推進活動
4R2Z		
大船渡 LC	-	
陸前高田 LC	5日	「高寿園」園内草刈作業
	11日	東日本大震災復興支援「ほのぼの寄席」
住田 LC	11日	直接献血
	9日	献血推進活動
大船渡五葉 LC	16日	ライオンつつじ園整備作業
	19日	公園草刈清掃作業
5R1Z		
宮古岩手 LC	-	
久慈 LC	23日	献血推進活動
陸中宮古 LC	1、14日	レディの会奉仕活動
	16日	百獣の王ライオンコンペ (事業資金獲得)
	9日	ユネスコ協会協力金
	13日	LCIF 献金 (熊本地震指定)
	16日	レディの会 エコキャップ送付
	17日	レディの会 使用済み切手 4,544 枚送付

田野畑 LC	4日	マレットゴルフ全国大会
	7日	田野畑村ミニバススポーツ少年団へユニホーム購入補助
岩泉龍泉洞 LC	4、9日	「ふれあいらんど岩泉」園内にツツジ 130 本植栽
5R2Z		
釜石 LC	1日	認知症サポーター養成講座
	1、8日	51 本桜植樹
	5、12、19日	釜石に桜を植える会
	10日	LCIF 献金 (熊本地震指定)
遠野 LC	15日	「あいぜんの里」LL 奉仕活動
	11日	「にこにこ運動会」協力
釜石リアス LC	23日	リサイクル品の回収
	14日	使用済み切手 1,000 枚送付
大槌 LC	19日	釜石復興支援コンサート開催
	28日	吉里吉里保育園 植樹桜の下草刈
陸中山田 LC	7日	献血推進活動
	10日	山田町自衛隊協力会
ライオネスクラブ		
西根 LS	19日	焼走り溶岩流まつり&旧車ミーティング
レオクラブ		
盛岡 LEO	-	
早池峰 LEO	-	
石鳥谷 LEO	-	
北上 LEO	19日	環境美化奉仕・花苗植栽
	28日	学校周辺のごみ広いと清掃奉仕
一関二高 LEO	-	
釜石 LEO	-	

訃報

石鳥谷 LC

故 L.後藤 成志

享年88歳 (1981年10月入会)
7月14日ご逝去



●編集委員会からのお願い●

今年度の「ライオンいわて」は、ライオンズ会員も会員以外も興味を持って読める冊子を目指しております。少しでもライオンズクラブを知ってもらうために、各地区のアクティビティを積極的に紹介していきたいと考えています。会員の皆様からのお写真や原稿の提供を、編集委員会一同、心よりお待ちいたしております。お気軽にキャビネット事務局、印刷担当の川嶋印刷株式会社へお問い合わせください。



アクティビティ フォトグラフ

遠野LC



震災仮設住宅入居者と梅の摘み取り体験

東山LC



献血推進活動

水沢LC



「水沢LC 交通安全広告塔」清掃作業

陸前高田LC



薬物乱用防止講演

前沢LC



献血推進活動

宮古岩手LC



鞭牛和尚像の修復・草刈り奉仕活動

江刺岩手LC



環境整備ごみ拾い
「国体会場 中央体育館」

住田LC



ライオンの森「草刈作業」

釜石リアスLC



釜石復興支援コンサート
「RENAと進もう!! 明日に向かってPARTIII」

※7月号のアクティビティフォトにて、釜石リアスLCよりご提供いただきました写真に、釜石LCと記載してしまいました。関係各位にお詫び申し上げますとともに、再掲載いたします。

お知らせ

毎年製作されている「ライオンいわて」のバインダー。今年の表紙は5ヶ所で撮影されています。撮影ポイントがより詳しくわかった方に、写真のパネルをプレゼントいたします。ご応募・お問い合わせは、川嶋印刷株式会社まで。

《表紙の写真：舞草神社 子安地蔵（一関市）》

舞草神社神輿殿の傍らにお座りになっている子安地蔵。舞草神社の来歴をたどれば養老2年(718)白山妙利社勧請、延暦18年(799)東城寺建立が伝えられており、明治以前の日本は神仏習合が一般的であったことが読み取れる。

編集後記

今月号から連載が2本スタート。どちらも実際に現場を歩いて、記事にしている。それゆえ、執筆者の“念”がたっぷり入っている文章なので、「頑張って歩いたんだねえ」くらいの気持ちで読み進めていただくと有難い。

今年は“熊”の当たり年のせいか、我々の取材対象地域は軒並み「熊出没!注意!」の看板が立っていた。「昨日、そこを歩いていたんですよ～」などという情報を聞くと、思っていた以上に森で熊さんに出合う確率は高かったのだと実感する。幸い熊さんとの遭遇はなかったわけだが。ちなみに、どちらの取材日も7月22日以前だったため、バーチャル珍獣たちとの遭遇もなかったし(うん、残念)。今後の取材でも熊さんに出合わないよう、祈るのみである。

(ライオンいわて編集委員会 委員一同)

ライオンズクラブ国際協会332-B地区 キャビネット事務局

ライオンいわて編集委員会

発行日 2016年8月15日

発行人 L.金野幸造

編集長 L.菊地慶矩(一関中央LC)

副編集長 L.小野寺進(一関中央LC)、L.佐藤正彦(一関LC)

編集委員 L.村上耕一(平泉LC)、L.菅原徳哉(花泉LC)、

L.舞石太(花泉LC)、L.菅原公正(一関中央LC)

L.伊藤和江(一関蔵美溪LC)

印刷 川嶋印刷株式会社 〒029-4194 西磐井郡平泉町平泉字佐野原21

TEL:0191-46-4161 FAX:0191-46-4165

E-mail:kiyoe.s@kpc.co.jp

キャビネット事務局 〒020-0022 盛岡市大通三丁目6-12 開運橋センタービル4-7号

TEL:019-621-1415 FAX:019-621-1420

E-mail:office-332b-morioka@almond.ocn.ne.jp